

令和2年度教育行政執行方針(抜粋)



教育長 野村 広章

「いのちを育み ふるさとを愛し
たくましく未来を
切り拓く人づくり」

学校教育の充実

確かな学力の向上

「全国学力・学習状況調査」や「標準学力検査」等の結果から、当町の子どもたちの学力の成果と課題を分析し、授業改善に努めてまいります。

学習指導においては、ティーム・ティーチングの充実やICT機器を活用した分かる授業づくりに努めてまいります。放課後や長期休業中における補充的学習や「ほっかいどうチャレンジテスト」を活用し、個に応じたきめ細やかな指導の充実に努めてまいります。

中学校においては、美術科及び数学科の非常勤講師を配置し引き続き質の高い授業に努めてまいります。

新しい時代に対応した教育の推進

教育の推進

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、情報活用能力の育成に向け、プログラミング教育における学習教材を導入するとともに、ICT支援員を招へいすることにより教師の機器操作の補助や、ICTを活用した授業の助言等を行い学校における実務的な支援を推進します。

外国語教育においては、本年から小学校中学年の外国語活動、高学年の英語科が全面实施されるこ

とから、中学校の英語科はもとより小学校における外国語活動などの充実のため、外国語指導助手(ALT)を活用し引き続き子どもたちの対話的な学びにつながる学習活動を推進してまいります。

特別支援教育の推進

各学校の特別支援教育コーディネーターを中心に校内研修を推進するとともに、個別の教育支援計画や指導計画を作成し効果的に活用することに努めてまいります。保育園や関係機関との連携により就学前の状況把握に努めてまいります。特別支援教育に関する教職員の専門性の向上や特別支援教育への理解を深める研修の充実に努めてまいります。

支援を必要とする子どもたちのために、特別支援教育支援員を配置して、きめ細やかな支援に努めてまいります。

豊かな心を育成する教育の推進

教育の推進

「特別な教科道徳」を要に学校の教育活動全体を通して組織的・計画的に指導するとともに、道徳の授業を公開し家庭や地域に開かれた道徳教育の推進に努めてまいります。

郷土を愛する心の育成については、農業生産活動や中学生議会など多様な体験活動を通して地域の特性を生かした教育活動の充実に

努めてまいります。姉妹校交流事業については、本年山形県鶴岡市立朝陽第一小学校の関係者が木古内小学校を訪問することとなります。引き続き両校の交流を支援してまいります。

健康な体と体力の向上

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から、小中学校においては「体力向上プラン」を作成し、発達段階に応じた体力の向上に努めてまいります。

子どもたちの基本的な生活習慣の確立のため、社会教育事業との連携による通学合宿事業や「早寝・早起き・朝ごはん・そと遊び」の推進を図るとともに、家庭やスポーツ少年団等と連携した運動習慣定着の取組を進めてまいります。

地域とともにある学校づくり

学校づくり

「地域でどのような子どもを育てるのか、何を実現していくのか」といったビジョンを地域社会と学校が一体となって子どもたちを育む学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の充実に努めてまいります。

安全教育については、子どもたちが社会や自然の様々な危険を理解し自らの命を自ら守り抜くため、小中学校の学校安全計画の改善・充実に努めるとともに、主体的に行動する態度を身に付けさせるため、